



PIAGET

PIAGET POLO 79 ツートーン

ピアジェは、1979年のオリジナル  
デザイン、精神、磨きをかけた知性、  
そして貴金属の卓越性に対する  
メゾンの揺るぎないこだわりを称える  
印象的な解釈で、イエローゴールドと  
ホワイトゴールドを組み合わせた  
新作を発表します。ピアジェはゴールド  
だけで時を測るからです。



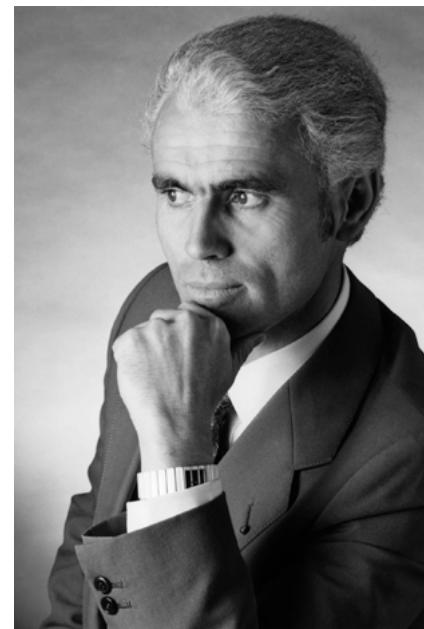
PIAGET

*Le temps Piaget ne se mesure qu'en Or*

# PIAGET

Polo®

*Chez les plus grands joailliers du monde*



The Piaget Polo. Water-resistant quartz.  
136 grams of 18K gold carved  
link-by-link into the most dynamic  
sports watch ever made.

Designed to accommodate  
the most diverse lifestyle.  
Shock-resistant. Water-resistant to  
three atmospheres. You can go  
through life without ever  
having to take it off your wrist.  
**Incredible accuracy only  
inherent in a Piaget.**  
Style and ruggedness only  
Piaget could combine.  
Ruggedly reliable, elegant in the  
strangeness of the Piaget Polo. On  
one hand, the Piaget Polo has  
the look of a bracelet to ease its  
bracelet to ease its  
**35 karat gold bracelet down  
to the smallest screw.**  
Each link is carved from a solid  
block of 18K gold.



PIAGET  
For brochure send \$1.50 to Piaget, 650 Fifth Avenue, New York, New York 10019

ピアジェにとって、ゴールドは昔も今も創造力の源です。メゾンは1969年、カフウォッチとスウェイリング ソートワールの中間に位置する、前衛的なゴールドジュエリーウオッチ シリーズ、「21<sup>st</sup> Century」コレクションを発表し、ウォッチマイキングとハイジュエリーにおける歴史を完璧に結合させました。ゴールドは常にピアジェの中心にありました。ジュネーブの自社鋳造所で溶解されたゴールドは、ウォッチとジュエリーを生み出すキャンバスとなりました。1970 年代にはエレガントなスティール製スポーツ ウォッチが登場ましたが、フルゴールド製のエレガントなスポーツ ウォッチであるPiaget Poloに匹敵するウォッチはありませんでした。熱心な乗馬愛好家であったイヴ・ピアジェは、1980 年代の魅力を特徴づけるウォッチに、ポロと華やかな生活に彼が注いでいた愛を融合させ、パームビーチのポロクラブでもニューヨークのシェ・レジーヌでも普段感覚で着用しました。彼はよく「ブレスレット ウォッチそしてウォッチ ブレスレット」と言っていました。

PIAGET

# レガシーの 再考

オリジナルのPiaget Poloは、初登場から45年後の2024年、メゾンの150周年を記念してPiaget Polo 79として復活しました。2024年のGPHGで「アイコニックウォッチ」賞に輝き、燐然たるイエローゴールドで復活したこの代表作が復興の幕を開けました。続いて2025年には、洗練されたホワイトゴールドバージョンが登場し、汎用性が向上しました。そして2026年、ピアジェは「ツートーン」を発表します。貴金属の美しい調和が、1979年に発表されたPiaget Poloのオリジナル構成のひとつを思い起こさせるこのウォッチは、際立つ違いとウェアラビリティにこだわる目利きの人々のためにデザインされました。

新しいPolo 79「ツートーン」は、単なる金属の組み合わせではなく、「時はゴールドで測られるべきだ」というピアジェの哲学を体現しています。1957年以来、そのDNAに深く根ざしたこの哲学は、Piaget Poloをアイコンたらしめるタイムレスなコードを尊重しながら、創造力を推進し続けています。ピアジェの特徴的なエクストラレガンザスタイルに忠実なPiaget Polo 79ツートーンは、ゴールドの熟練した職人技を披露します。ブラッシュ仕上げを施したホワイトゴールドケースと一体型ブレスレットに、ポリッシュ仕上げのイエローゴールド製ゴドロン装飾がドラマチックにアクセントを添えています。金属が慎重に相互作用することで、Piaget Poloのシグネチャースタイルを維持しながら、視覚的な深みと質感を生みます。ソリッドゴールドの文字盤にも同じ哲学がシームレスに統合されており、ブラッシュ仕上げを施したイエローゴールドの針が洗練された彩りを添えています。



PIAGET



## 超薄型化の熟練技能

Piaget Polo 79ツートーンは、キャリバー 1200P1 が搭載されています。厚さわずか 2.35 mm の自社製超薄型マイクロローター機械式ムーブメントです。この技術的成果により、このウォッチは、高級スポーツエレガンスに向けたピアジェのアプローチの代名詞である、手首の描くシルクのような格調高い輪郭を保ちます。このムーブメントは、何世代にもわたってピアジェのマニュファクチュールを際立たせてきた専門技術である、超薄型ウォッチメイキングの秀でたレガシーにおける最新の進化を表しています。38mm ケースと完全に一体化したブレスレットのデザインを組み合わせることで、さまざまな手首のサイズやシーンに優雅にフィットする極めて快適なウォッチが誕生しました。この思慮に富んだ手法は、ピアジェが紛れもない個性を維持しながらも、一貫して時代のエッセンスを捉えたウォッチを作り続けてきましたことを証明しています。

PIAGET

## 原点への回帰

Piaget Polo 79 ツートーンは、Piaget Poloのオリジナルデザインを純粹に表現し、鑑識眼を持つ現代の人々向けに考え抜かれたアップデートモデルです。ピアジェは1979年初頭からツートーン構成を提供してきましたが、かつてはエレガンスと日常的なウェアラビリティの独創的な組み合わせを求めるスタイリッシュな人々に好まれており、現在ではツートーン構成のタイムピースはほとんど見かけません。一見すると、ブラッシュ仕上げを施したホワイトゴールドとイエローゴールドの相互作用は、ステンレス スチールを連想させるかもしれません。しかしこれは、貴金属が測時学上の芸術性で唯一受け入れられるキャンバスであり続けたハウス・オブ・ゴールドには決して当ではありませんでした。ツートーンの復活は、スポーツ精神と洗練された汎用性を兼ね備えたウォッチに対する現代のコレクターの評価が進化していることを物語っています。スタイル、スポーツ、エレガンスが融合したピアジェの日常のエクストラレガンザを体現する人々のために。



PIAGET



## ピアジェについて

ピアジェの独特の魅力はその大胆なスタイルにあります。1874年の創業以来受け継がれるクリエイティビティー溢れるスタイルは、華やかな時計やジュエリーに体現されています。大胆な創造性に対する情熱は、スイスのジュラ山脈にあるラ・コート・オ・フェで生まれました。メゾンの創立者であるジョルジュ=エドワール・ピアジェが、その村にある家族の農場の中に最初の工房を設け、高性能ムーブメントの制作をはじめたのは1874年のことでした。このときから時計職人としてのピアジェの名は広く知られるようになります。パイオニア精神を大切にするピアジェは、1950年代後半に薄型ムーブメントの設計・製造に乗り出しました。メゾンを代表する

「アルティプラノ」の礎石となるそのムーブメントはピアジェの代名詞のひとつになり、時計製造の世界に確かな足跡を残しました。同時に、ピアジェは常に創造性と芸術的な価値に重きをおき、ゴールドと色とりどりのカラーの融合、新しいシェイプ、高価な宝石、オーナメンタルストーンの文字盤といったスタイルを受け継いできました。卓越したクラフツマンシップのもと、メゾンは「アルティプラノ」、「ピアジェ ポロ」、「ライムライト ガラ」、「ポセション」、「ピアジェ サンライト」、「ピアジェ ローズ」、「エクストリームリー ピアジェ」などの素晴らしいクリエイションを創り続けています。

# PIAGET

WWW.PIAGET.COM  
WWW.FACEBOOK.COM/PIAGET  
WWW.INSTAGRAM.COM/PIAGET/  
WWW.PINTEREST.COM/PIAGET/  
WWW.YOUTUBE.COM/PIAGET  
WWW.LINKEDIN.COM/COMPANY/  
WEIBO.COM/PIAGET  
#POSSESSION  
#MAISONOFEXTRALEGANZA  
#PIAGET150  
#PIAGETSOCIETY

P